



第179号

令和6年11月1日
発行常民文化研究会
〒254 平塚市東八幡
016-215-6000

「クロス」とはギリシャ語 Xopos で英語 Chorus コーラスに当たります。ギリシャ悲劇では十数人の合唱団として、演劇の進行を説明し、時には民衆心を代弁する重要な役割を果すものです。私達の心を反映する小さな場としてこの会詩を「クロス」と名付けました。

入会受付について

入会は随時受付し希望者は、事務所に葉書にて、住所、氏名、電話番号を連絡の上、本会の郵便振込口座(〇〇二八〇一九一―二七九〇)一年会費一〇〇〇円を振込み下さい。

石鏡講中参拜紀念録に世相を読む(4)

―安芸国忠海二窓西山講中の二百六十年に寄せて―

西海 賢二

紀元二千五百八十年
大正九 庚申歳
人皇百二十二代
大正天皇御宇
記事
一月世界平和克復大詔下ル
「露領ニコライエフスク」
ニテ日本人五月廿四日露兵
ニ惨殺セラル其数
二百七百人
四月我軍ニコラス ハバロ
フスク
両市占領
我兵北樺太へ上陸本根(カ)
殿下梨本宮方子女王殿下
ト御結婚
陸奥巡洋艦進水式挙行
我軍「ニコライエフスク」
占領
二月帝国議會解散
六月帝国議會召集
山階芳麿王殿下臣籍へ
陛下
十日第一回国執調査
十一月明治神宮鎮座祭執行
浦塩派遣軍事司令官陸軍大将

大谷喜久蔵凱旋ス
東京市疑獄事件起
参詣者
西山石太郎
吉田松右衛門
宮本傳十
福本島三郎
西山宮吉
永井徳松
濱磯力松
明田仁三松
伊藤岩太
西山海之助
生田熊吉
居蔵市松
居蔵一男
田川太松
濱磯久松
角本庄一
村上福松
西山甚吉
花岡銀市
金本市松
山科太郎
田上大吉
中沖春吉

浜磯太郎
大川太郎
中原浅吉
大川伸市
胡子竹松
永福才造
中沖芳太郎
樋口菊松
島津徳松
樋口佐一
西山若松
「印」
紀元二千五百八十一年
大正十 辛酉歳
人皇百二十二代
大正天皇
記事
三月皇太子殿下海外御巡
遊ノ為メ御出発
航空法職業紹介法
軍部制廃止公布
我日本人員總数発表ニヨレ
バ(五千五百九十九
六万三千〇五十三人)
九月皇太子殿下御帰朝
十一月内閣総理大臣原敬暗
殺セラレ高橋是清之二代ル
皇太子裕仁親王殿下
摂政ニ任セラレ給フ
参詣者氏名
先達 五・六〇
西山石太郎

明田仁三松
濱磯力松
吉田仁助
永井徳松
宮本宮吉
樋口貞松
山科石松
中野万吉
樋口佐市
居蔵市太郎
田上音松
山林音松
居蔵一男
西山宮吉
村上作之丞
田川多松
西中佐一
大川傳松
西山若松
花岡吉松
明田七松
吉田松右衛門
濱磯力松
濱田新次郎
浜田市松
金本市松
永福佐松
吉田松右衛門
濱磯久松
濱磯多松
福本松吉

大正天皇御宇
記事
一月大隈重信 二月山縣有朋薨
未成年者飲酒禁止法公布
皇太子裕仁親王殿下
久邇宮良子女王殿下ト婚姻
ノ
約ナル
監獄ヲ刑務所ト改稱
参詣者人名 六・八五
先達 西山石太郎
中野万吉
永福勝松
永井徳松
藤本権松
明田仁三松
山科石松
山林音松
明田七松
吉田松右衛門
濱磯力松
西山宮松
花岡吉十
宮本宮松
友田吉之助
濱中濱一
前川仙松
濱磯久市
中沖芳太郎
胡子竹松
金本市松

角本庄市
金本梅松
田口幸太郎
永井庄松
村上喜四郎
居蔵一太
樋口貞松
鷹林玉吉
「印」
紀元二千五百八十三年
大正十二、癸亥歳
人皇百二十二代
大正天皇御宇
記事
九月一日午前十一時五十八分
突如関東大激震起リ
大火災焼失戸数四十万
餘人畜ノ死傷實ニ算ナシ
被服廠内空地廣場ニ逃
ケ延タル者数万何モ全部
焼死(殆ト東京、横浜、等
ノ市街ナシ)
兇漢攝政宮殿下へ伏銃ヲ発
射シ奉ル
政治家(衆議院議員議長)河
野
廣中薨ス
参詣者人名 七・八五
先達 西山石太郎
西山若松
花岡吉十